



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2202回例会 令和 4年 4月 22日(金)

【クラブフォーラム・卓話 オダヒョンさん】

2022-5-13発行



SERVE TO CHANGE LIVES

2021～2022年度

国際ロータリー会長シュメール・メーター
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』

第2570地区ガバナー 水村雅啓
『もっと夢を もっと奉仕を』

【会 長】奥田功次
【副会長】深谷雅良
【幹 事】森田仁一
【副SAA】萩原喜八郎

- 【点 鐘】 会長 奥田功次会員
【斉 唱】 ロータリーソング「奉仕の理想」
【ゲスト】 米山記念奨学生 オダヒョンさん
(立教大学)

【会長の時間】 会長 奥田功次会員

4月3日日曜日に島田会長エレクトと一緒に、米山記念奨学会のオリエンテーションに参加してまいりました。



本年4月から地区新規奨学生9名、継続奨学生7名合計16名のロータリー米山記念奨学生を迎えることになり、富士見クラブ所属の奨学生との初対面となりました。

そして、オダヒョンさんにおいでいただきました。後ほど、自己紹介と卓話をお願いしております。皆様には取っては、米山については十分ご存じのことと思いますが、今日は改めてお話しさせていただきます。日本のロータリーの誇るべき事業に、ロータリー米山記念事業というのがあります。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」と日本ロータリーが共同して行う奨学事業です。この制度ができてすでに70年が経とうとしています。

この事業の着想となったのが、日本のロータリーの創始者ある故・米山梅吉翁の生前の功績を讃えて、東京ロータリーが始めた「米山基金」です。奨学金給付の対象になるのは、訪日した私費外国人留学生に限られていて、僕らは、彼らが将

來有為(うい)の人材に育ち、いずれは日本と母国との平和の懸け橋になって国際親善や国際平和に貢献してくれることを期待しています。

「寄付はお金がある人がすることではなくて、心のある人がすることなのです」
名言だと思います。

具体的には、彼らに一年または二年の間、返還不要の奨学金を支給して、その対象者は年間850人、年間に支給する奨学金の総額は約15億円という規模で、民間団体による国際奨学事業では国内最大級を誇ります。

これまでにこの恩恵を受けた留学生はおよそ2万2千人、その出身国は世界中の約130ヶ国に及んでいます。

特長的なのは、その事業費のすべてが日本のロータリアンの寄付によってまかなわれていることです。そのため、ロータリアンはこの事業の維持のために一年間、一人当たり最低16,000円以上の寄付が必要になります。

ロータリークラブには、会員に対してお願いする寄付がいくつかあるが、米山記念奨学会への寄付はそのうちの大切な一つです。もちろん支出した寄付金には、税法上の各種特典も認められています。

この事業については、以下のような特徴があります。日本のロータリークラブは約250あるがその中の役850のクラブが割り当てられた留学の支援を担当します、このクラブを「世話クラブ」といいます。世話クラブでは、受け入れた留学生の相談役となる会員を決め、その会員は一年または二年間、その役を務めることになり、このロータリアンを「カウンセラー」といいます。

米山奨学生であった留学生は、大学、大学院を卒業後は「学友会」という組織に入り、後輩の支援をすることになります。

米山は、ロータリーの行う事業のなかで最も分かり易い事業だと思います。事業の内容は簡単です。1私費、2外国人、3留学生 という基礎資格を前提に、4前年度の地区の寄付総額で決まる奨学生数、5指定校制度、6地区米山委員会による選考(書類選考と面接選考)の構成の中から、次年度の奨学生が決定いたします。

その後は、地区内のどのクラブに世話クラブになつてもらうか、その中のどの会員にカウンセラーになつてもらうかを、自薦他薦を交えて選考します。

クラブ側からどの奨学生がいいか、国別、性別、大学別などの希望が提示され、いくつかの組み合わせの中からベスト・マッチングが決定していきます。

四月の新学年度から、実際の奨学金給付が開始する。奨学生たちは毎月、世話クラブの第一例会に出席し、例会時間中に会員に対し近況報告をして、その月の奨学金を受け取ります。

この一時間でクラブ会員との交流が生まれ、その後さまざまなクラブ行事に参加して、母国と日本との文化や習慣の違いを体験していきます。卒業後、彼らは学友会に所属し、相互の連絡を続けながら交流は継続していきます。

是非多くのロータリアンに米山のカウンセラーを経験してもらいたいです。そうすれば、きっと彼ら留学生たちの真面目さに感動して、米山のファンになること請け合いです。彼らを応援してやりたいと、誰もがそう思うに違いありません。

ロータリアンから聞かれることがある。「なぜ、米山の奨学金は留学生に限るのか?」「なぜ、日本人の学生には支援しないのか?」「日本とあまり仲の良いくない国の留学生を支援することは面白くない。…だから私は米山に寄付をしない」といった疑問もカウンセラーを経験すれば一発で解消するだろうと思います。

最近聞いた一言がある。「寄付はお金がある人がすることではなくて、心のある人がすることなのです」
名言だと思います。

【幹事報告】 幹事 森田仁一会員



- 1) 例会变更の件
 1. 当クラブ
 - 4月29日(金) 祝日による例会取止め
 - 5月6日(金) 定款による例会取消
 - 13日(金) クラブ協議会 次年度会長 点鐘12:30 例会場
 - 19日(木) 日帰りバス旅行 渋沢栄一記念館と深谷農家食堂NOLA
- 2) 次の書類を回覧します
 1. 水村年度会員増強委員会からのお願い
 2. 地区より「子どもの貧困問題」への奉仕・行動のお願い
 3. 2022～23年度会長エレクトセミナー報告
 4. 煌めく18の星
2021～22年度米山記念奨学生文⑭
 5. ハイライトよねやま 265号
 6. 子どもの夢つなぐ通信第6号
 7. 高齢者あんしん相談センターふじみ苑より オレンジカフェ開始のご連絡
 8. 志木RC会報
- 3) 下期会費の納入をお願い致します。
埼玉りそな銀行 鶴瀬支店
(普) 3934842 ¥120,000

【委員長報告】

本日の報告はありません

【贈 呈】 副会長 深谷雅良会員

米山記念奨学委員会より奥田功次会長にカウンセラーとしての委嘱状を贈呈



オダヒョンさんに4月分の助成金をお渡しいたします。1年間頑張ってください



【出席報告】長根章浩会員

4月22日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	24名	10名	
出席数	17名	4名	72.4%

【ニコニコBOX】長根章浩会員

奥田功次会長、森田仁一幹事、斎藤重治会員、浅見隆広、坂本元彦、島田敏郎、下山定夫会員、長根章浩、萩原喜八郎、羽石 隆会員、深谷雅良、横田昌則会員

米山記念奨学生オダヒョンさん、ようこそ。森田仁一幹事

先日の志木RCとの合同、新ペリのおかげで優勝させて頂きました。有難うございます。

島田敏郎会員

先日の志木RCとの合同ゴルフコンペお疲れさまでした。

羽石 隆会員

誕生祝、有難う。

羽石 隆会員

結婚祝、有難う。

大坪 進会員

前回欠席に付

合計¥19500



【紹介】 会長 奥田功次会員

米山記念奨学生のオダヒョンさんにお越しいただきました。

1年間当クラブがホストクラブとなります。本日は自己紹介を兼ねた卓話をしていただきますので宜しくお願い致します。

【自己紹介】 オダヒョンさん



はじめまして。立教大学院コミュニティ福祉研究科2年のオダヒョンと申します。

国籍は韓国で、日本に来て4年になります。現在の研究領域は、高齢者福祉です。

今日は、自己紹介を兼ねて、皆さまに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私が高齢者福祉を勉強したいと思った理由は、母国での経験と関連があります。

私の祖母は認知症を患い、60年間暮らした家を離れて、施設に入所をしました。その時、祖母は「今まで住んでいたところで、最後まで生活したい」と望んでいましたが、結局、家に戻れず、施設で亡くなりました。

このような状況を見て、「どうすれば高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるのか」、その答えを探したいと思いました。

韓国ではなく、日本で高齢者福祉を勉強したいと思った理由は、韓国の高齢者福祉政策が日本の介護保険制度の影響を受けていたからです。

また、日本は高齢化率が世界一なので、政策的に、あるいは、実践的に、韓国より学ぶことがより多いのではないかと考えたからです。

日本に来てから、私は学校に通いながら、介護のアルバイトをはじめました。最初のアルバイト先は、デイサービスでした。その時は日本語が今よりも上手ではなかったため、コミュニケーションが最も大変でした。例えば、高齢者が「ティッシュ」を「チリ紙」、「ブラシ」を「くし」などと表現したため、外国人である私はその意味を理解することが難しかったです。

しかし、アルバイト先での経験が長くなるほど、コミュニケーションは言葉だけではなく、心から通じるものであると感じました。

多くの高齢者は私が聞き取れなかったときに、嫌がるのではなく、絵を描いてくれたり、

そのものを指でさしてくれたり、もう一度ゆっくり話してくれたりするなど、私がおその意味を理解できるように手伝ってくれました。

また、介護施設でアルバイトをしながら感じたことは、言葉と本音が異なる高齢者が少なくないということでした。

利用者の中に、「施設に入りたい」と言っている高齢者がいましたが、その方の本音は、「最後まで家族と一緒に生活したいが、家族の負担になりたくない」ということでした。

このような高齢者の本音を聞いて、より多くの高齢者が自分らしく住み慣れた地域での日常生活ができるためには、公的制度和ともに、地域住民の協力が必要であると感じました。

そこで、大学院に行って、地域住民同士がお互いに助け合う「住民参加型在宅福祉サービス団体」について研究したいと考えました。

現在、私は住民参加型在宅福祉サービス団体で活動しながら、活動している人々の継続理由について研究しています。

この団体で参加している住民は、お金を稼ぐことを目的にすることではなく、ボランティア精神を持って活動を行っています。この活動を通じて、私は人が人生を生きていくためには、一人ではなく、多くの人々の暖かい心が必要だと感じました。

私の研究も、ロータリアンの暖かい心があるからこそ、可能であると考えます。まだ、未熟な部分が多いですが、皆さんの期待に応えられるように、頑張っていきたいと思います。これからよろしくお願いたします。

ご清聴ありがとうございました。

【クラブフォーラム】次年度会長 島田敏郎会員



次年度の地区大会9月22日帝国ホテルの予定の件ですがテーブルごとに意見をまとめて発表をお願い致します。

テーブルごとの発表ですと当クラブはオンラインということになりました。地区に報告させていただきます。有難うございました。

【お知らせ】

- 5月11日(水) 第2G会長幹事会 18:00ベルセゾン
- 12日(木) 富士見市町会長連合会開催 14:45 市長公室
- 17日(水) 第2Gゴルフコンペ 高坂CC 出席 奥田、森田、羽石、島田、萩原、長根、吉原 7名

【点鐘】会長 奥田功次会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:浅見隆広
 委員長:浅見隆広 副委員長:尾崎孝好
 委員:長根章浩 涌井英樹